

令和 4 年度県政アンケート調査結果について

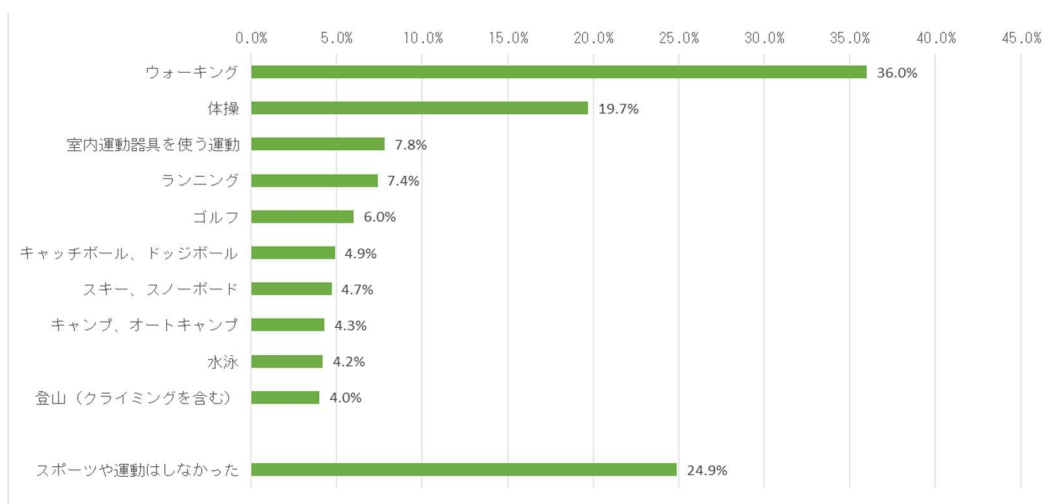
(調査対象：県内在住の満 18 歳以上の者／調査方法：郵送によるアンケート調査)

1 スポーツに係る調査結果について

① この 1 年間に行った「スポーツ」や「運動」の状況について

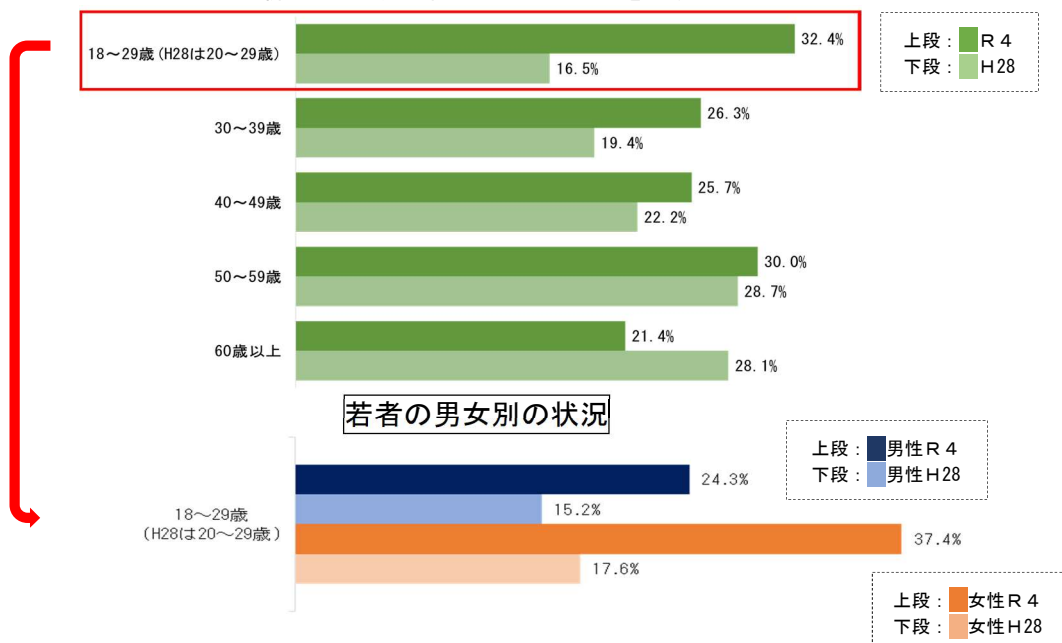
- この 1 年間に行った「スポーツ」や「運動」についてたずねたところ、「ウォーキング（散歩などを含む）」が 36.0%で最も割合が高く、次いで「体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びなどを含む）」が 19.7%、「室内運動器具を使ってする運動」が 7.8%、「ランニング（ジョギング）」が 7.4%、「ゴルフ」が 6.0%の順となっている。
- 一方、「スポーツや運動はしなかった」は 24.9%となっている。

この 1 年間に行った「スポーツ」や「運動」 上位 10 項目（全体）



この 1 年間にスポーツをしなかった人の年齢別の状況について

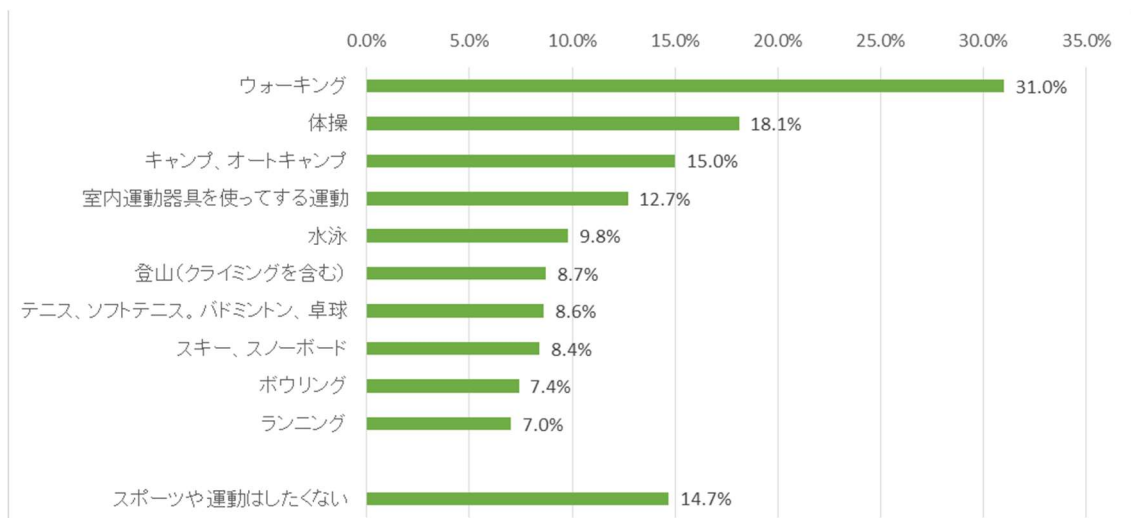
(新型コロナ発生前後 (H28 と R4) を比較)



② 今後行ってみたい「スポーツ」や「運動」の状況について

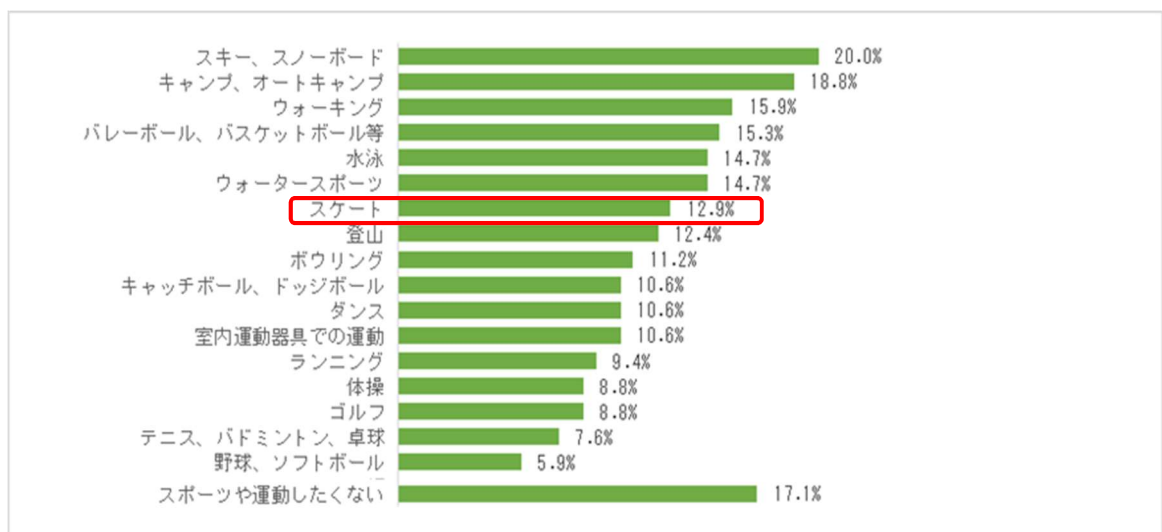
- 今後行ってみたい「スポーツ」や「運動」についてたずねたところ、「ウォーキング（散歩などを含む）」が31.0%で最も割合が高く、次いで「体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びなどを含む）」が18.1%、「キャンプ、オートキャンプ」が15.0%、「室内運動器具を使ってする運動」が12.7%、「水泳」が9.8%の順となっている。
- 一方、「スポーツや運動はしたくない」は14.7%となっている。

今後行ってみたい「スポーツ」や「運動」 上位10項目（全体）



今後行ってみたい「スポーツ」や「運動」の年齢別の状況（回答率5.0%以上）

【18～29歳】

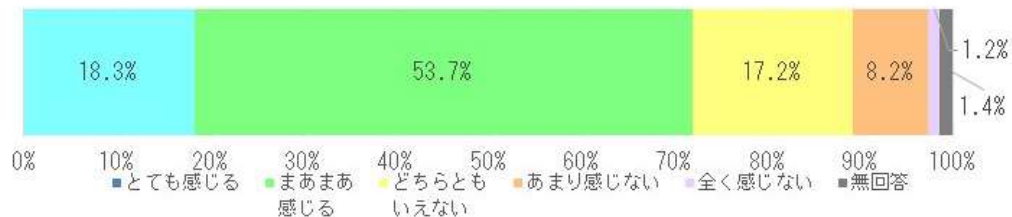


2 山形での生活に係る調査結果について

① 「現在、どの程度幸福を感じているか」の状況について

- 「山形での生活」について、現在、どの程度幸福を感じているかたずねたところ、全体では「まあまあ感じる」が 53.7%で最も割合が高く、次いで「とても感じる」が 18.3%、「どちらともいえない」が 17.2%の順になっている。

「現在、どの程度幸福を感じているか」の状況



② 「幸福（充足している）かどうか判断する際に重視したもの」の状況について

- 幸福かどうか判断する際に重視したものについてたずねたところ、全体では、「健康状況」が 66.5%と最も割合が高く、次いで「家族関係」が 61.2%、「家計の状況」が 35.5%、「居住環境」が 34.9%、「自由な時間、充実した余暇」が 31.2%の順となっている。
- ただし、18歳～29歳の年齢別では、「健康状況」62.4%、「家族関係」58.8%に次いで、「自由な時間、充実した余暇」が 45.3%と高い割合となっている。

「幸福（充足している）かどうか判断する際に重視したもの」

